

## マタイの福音書 第9章 9節

「イエスは、そこを去って道を通りながら、収税所にすわっているマタイという人をご覧になって、『わたしについて来なさい』と言われた。すると彼は立ち上がって、イエスに従った。」

人々が慌ただしく行き交う道を通ってくださるイエスさまです。この道は私たちの生活、人生そのものです。そこを人となられた神さまが通るのです。進んで行く手に収税所で座るマタイをじーっと見ます。そして、わたしについて来なさい、とお声をかけます。他の誰でもありません。マタイに掛けられた御声です。

座っているところが収税所です。同胞からは嫌われ、憎まれ者がいるところです。とても声など掛けられるところではありません。できれば避けて通りたいところです。これまでも、通りがかりに嫌みを言われ、罵声が聞こえていました。それが、聞いたことのない声が聞こえます。驚くしかありませんでした。驚くままに立ち上がり声の主について行くことになってしまいます。たちどころに収税所を後にしてついて行きます。

マタイは主イエス・キリストのうしろについてゆきます。そして、主イエスのそばを歩む者になります。さらに、彼のうちにキリストの霊が宿る者とされます。霊の宮として用いられる者となります。マタイの生涯の終わりには、主のものとなります。

2024年6月15日